

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300448		
法人名	特定非営利活動法人 ひかり		
事業所名	グループホーム 星の丘リビングなの花		
所在地	佐賀県鳥栖市桜町1424番地7		
自己評価作成日	令和5年7月31日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年8月17日	外部評価確定日	令和5年10月11日

高齢者で認知症を患っていらっしゃる方々の生活の場(入居施設)ということで、介護技術は勿論の事、認知症ケアにおいて知識・技術を必要とされる為、内・外部研修への積極的参加などを通して、向上心を持ってスキルアップに努めています。
さらに「暮らし」の場であるため、認知症であっても「自分らしく」暮らしていける“家”として支援させて頂いております。
高齢者であるため、多くの持病を抱えておられる方も多く、日々の体調変化に留意し、健康管理に努めております。NPO法人ひかりは設立から今年で丸19年を迎えます。鳥栖市桜町の医療法人千鳥会石橋整形外科元院長夫人が初代理事長として設立。よってリハビリ体操・予防体操など最期まで動ける体であることを目標に取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

JRの駅が近く、住宅、商店街もあり高齢者住宅に並んで事業所は創立して19年。5年前にユニットが増設され2ユニットの事業所である。ユニットは廊下で繋がっており行事や緊急時に便利である。近くの協力医の奥様がリハビリ、予防体操等健康で最期まで自分らしく過ごせる事を目標に立ち上げられている。管理者はありきたりの日常の中で制限無く穏やかに、安らぎのある暮らしを目的としている。モンゴルから2人の研修生を受け入れ、利用者の人気者である。主に台所の仕事を学んでいる。利用者は漢字や日本語を教えたり、職員とおやつ作り等学び楽しい雰囲気である。職員トイレには「明るい挨拶」「美しい掃除」「丁寧な介護」「皆で仲良く」と理事長の言葉が掲示され職員は常に心掛けている。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は共有出来ているが、日頃の介護に活かせるかは、個々人の理解の相違があったりするので、会議の席などで理解の共有に努めている。	法人理念は共有出来ているが、日頃の介護に活かせるかは、個々人の理解の相違があったりするので、会議の席などで理解の共有に努めている。	独自の理念の変更はなく、玄関、リビングに掲示されている。いつでも利用者に対し介護に寄り添うよう全体会議で確認し、同じ思いでケアに活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍でこの春よりずいぶん緩和されてきたので、少しずつと思っていたが、7月に入ってコロナ感染が再拡大の為、現状地域の方との交流は実現出来ていない状況です。	コロナ禍でこの春よりずいぶん緩和されてきたので、少しずつと思っていたが、7月に入ってコロナ感染が再拡大の為、現状地域の方との交流は実現出来ていない状況です。	自治会に加入し、回覧板で町内の情報は得られている。コロナ禍で多くはないが、駅の花壇活動、祭の案内には参加し交流は続いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ以前は共用型デイサービス・認知症サポーター講座、関連医療施設での健康教室にて地域への認知症の理解支援に努めてきたが、現在は、運営推進会議や地域清掃活動時の外部の関わりの中で活かせるよう努めている。	コロナ以前は共用型デイサービス・認知症サポーター講座、関連医療施設での健康教室にて地域への認知症の理解支援に努めてきたが、現在は、運営推進会議や地域清掃活動時の外部の関わりの中で活かせるよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的実施している。コロナなどで再開出来ない際は、資料の事前送付を行い、ご意見をアンケート方式で聴取し、皆さんの意見を活かす努力はしている。	運営推進会議は定期的実施している。コロナなどで再開出来ない際は、資料の事前送付を行い、ご意見をアンケート方式で聴取し、皆さんの意見を活かす努力はしている。	2ユニット合同で2ヶ月に1回開催されている。メンバーの方には案内や声掛けをして参加してもらっている。状況報告、入居状況、事故情報等資料を作成。欠席の方には議事録を送り、意見を聞くようにしている。資料の中に「グループホーム」について詳しい説明がされており、初めての人にも分かり易くなっている。事故情報については職員と原因を調べ改善した内容は家族にも報告されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には必ず鳥栖地区広域市町村圏組合の方に参加頂き、不明点に関しては相談に行っている。また、日頃から、医療機関の勉強会などに参加させて頂き、出来る限りの協力関係を築くように努力している。	運営推進会議には必ず鳥栖地区広域市町村圏組合の方に参加頂き、不明点に関しては相談に行っている。また、日頃から、医療機関の勉強会などに参加させて頂き、出来る限りの協力関係を築くように努力している。	運営において不安な事、人員配置等不備がないように日頃から相談に出向いている。何でも相談出来、分かり易く心強い。生活保護の方の手続きやホームの空き情報も報告されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	オンライン研修などに参加し、身体拘束について基本的な知識を習得し、拘束とはを正しく理解し、拘束をしないケアの在り方に努めている。身体拘束委員会を開催し、研修内容などを決めて、動画で全スタッフに配信し理解向上に努めている。	オンライン研修などに参加し、身体拘束について基本的な知識を習得し、拘束とはを正しく理解し、拘束をしないケアの在り方に努めている。身体拘束委員会を開催し、研修内容などを決めて、動画で全スタッフに配信し理解向上に努めている。	外部や事業所内の研修に参加し、動画を使いながら個別に学び報告書を作成している。外出願望の方があり、玄関の施錠は無いがドアに鈴が付けられている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	動画配信で学んでもらい、自身のケアに虐待につながる言動などが無いか定期的に振り返って頂くように努めている。	動画配信で学んでもらい、自身のケアに虐待につながる言動などが無いか定期的に振り返って頂くように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修やミーティングにて理解を深める努力はしている。また、面会者、ご家族様の届くところにガイドブックやリーフレットを掲示し活用出来るよう努めている。	研修やミーティングにて理解を深める努力はしている。また、面会者、ご家族様の届くところにガイドブックやリーフレットを掲示し活用出来るよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、退居(解約)、改定時には十分な説明を行い、文章で発行し、理解して頂けるよう努めている。	契約の締結、退居(解約)、改定時には十分な説明を行い、文章で発行し、理解して頂けるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族の意見をいただくためご意見箱を設置し、面会時には必ず管理者が顔を合わせて話を聞く機会を作っている。また、常に連絡が取りやすい様に、LINEを利用しご家族の考えなどを気軽に言っていただけの環境を作るよう努力している。	利用者、ご家族の意見をいただくためご意見箱を設置し、面会時には必ず管理者が顔を合わせて話を聞く機会を作っている。また、常に連絡が取りやすい様に、LINEを利用しご家族の考えなどを気軽に言っていただけの環境を作るよう努力している。	現在は玄関でマスクを着用し15分程度の面会である。その時に質問や要望等の声掛けをし、ラインでも連絡が行われている。利用者の日頃の生活の様子を動画で送ったり、毎月「おたより」を配布し家族から喜ばれている。また、退居後もラインにて情報が届いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	半年に1回は定期個人面談を開催。 2ヶ月に1回は全体会議を設けており、法人に対して、運営に関して等の個々人の意見・疑問などを聞き取りフィードバックを早めに行うよう努めている。	半年に1回は定期個人面談を開催。 2ヶ月に1回は全体会議を設けており、法人に対して、運営に関して等の個々人の意見・疑問などを聞き取りフィードバックを早めに行うよう努めている。	2ユニット内での異動はある。男性職員が6人と心強く、永年勤務の方も4名在職し、職員の入れ替わりも少なく安定している。法人の考え方や設備、コロナについて等職員からは随時意見が出されている。理事長に相談後全体会議で検討し出来る事から改善されている。職員の急な休みも対応出来、利用者、家族、職員とのコミュニケーションも良く働き易くなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度1回人事考課面談を実施。 個々の職員の目標、やりがい、受けたい研修等の聞き取り、法人が協力できるよう、(シフト調整など)努めている。	年度1回人事考課面談を実施。 個々の職員の目標、やりがい、受けたい研修等の聞き取り、法人が協力できるよう、(シフト調整など)努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会への参加を積極的に行い、勤務調整し、個々人の階級にあった研修を受けられるようにシフト調整を行い、会議などでフィードバックする機会を設けている。	研修会への参加を積極的に行い、勤務調整し、個々人の階級にあった研修を受けられるようにシフト調整を行い、会議などでフィードバックする機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	たけのこの会という会が作られ、同業者との交流会などに参加する機会を作っていただいております。	たけのこの会という会が作られ、同業者との交流会などに参加する機会を作っていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には必ずアセスメントを行い、入院されてる方でも、病院の方へ出向き、面談をさせて頂き、本人が不安を少しでも取り除けるよう、要望などしっかり聞き取りを行い。ご家族様にも説明をおこなっている。	入居前には必ずアセスメントを行い、入院されてる方でも、病院の方へ出向き、面談をさせて頂き、本人が不安を少しでも取り除けるよう、要望などしっかり聞き取りを行い。ご家族様にも説明をおこなっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居までは家族・ご本人様含めしっかりと聞き取り、説明し、入居後しばらくはこまめにご様子などを、報告したり、テレビ電話をつないで会話していただいたり対応している。	入居までは家族・ご本人様含めしっかりと聞き取り、説明し、入居後しばらくはこまめにご様子などを、報告したり、テレビ電話をつないで会話していただいたり対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期段階でのアセスメントを基にサービス内容を決定し、そのサービス内容にも優先順位をつけ、説明を行い同意を得るよう努めている。	初期段階でのアセスメントを基にサービス内容を決定し、そのサービス内容にも優先順位をつけ、説明を行い同意を得るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームの特性を活かし、生活場面に寄り添い、不安や悩みを解消する努力、要望もしっかり聞き取りをし、安心して過ごせる環境を提供できるよう努めている。	グループホームの特性を活かし、生活場面に寄り添い、不安や悩みを解消する努力、要望もしっかり聞き取りをし、安心して過ごせる環境を提供できるよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の要望や意見をサービスに出来る限り反映出来るよう、ケアマネジャーを含め話し合い、プランを立案し協力体制を構築するように努めている。	家族の要望や意見をサービスに出来る限り反映出来るよう、ケアマネジャーを含め話し合い、プランを立案し協力体制を構築するように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで通り、なじみの人などの訪問は気軽に頂ける環境を整えてはいたのだが、コロナの発生状況などもあり、面会ができないので、LINEのテレビ電話でつながせていただいたりしている。葬儀や法事などには出来る限り参列していただけるよう、送迎をおこなったり、短時間でも出向けるよう支援に努めている。	今まで通り、なじみの人などの訪問は気軽に頂ける環境を整えてはいたのだが、コロナの発生状況などもあり、面会ができないので、LINEのテレビ電話でつながせていただいたりしている。葬儀や法事などには出来る限り参列していただけるよう、送迎をおこなったり、短時間でも出向けるよう支援に努めている。	これまでに行事の際には家族も多く集まり、面会も多かった。その際に意見や要望を聞いていた。以前は携帯電話の持参もあったが今は家族とはラインで繋がっている。電話の取次ぎも行われる。受診の帰りには家族と食事や買い物される事もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や既往歴、生活環境等を考慮し、日々の生活場面で馴染みの関係が築け、良好な関係性が持てるように努めている。	性格や既往歴、生活環境等を考慮し、日々の生活場面で馴染みの関係が築け、良好な関係性が持てるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居され、別施設に替わられた際も、近況をお伺いし、時には面会させて頂き、相談・助言がいつでも出来るように声掛けなどを怠らないよう努めている。	退居され、別施設に替わられた際も、近況をお伺いし、時には面会させて頂き、相談・助言がいつでも出来るように声掛けなどを怠らないよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の状況を把握したうえでの気付き訴えに対して職員間で情報を共有し、ケア実践では寄り添う姿勢で安心感を提供出来るように努めている。	日々の状況を把握したうえでの気付き訴えに対して職員間で情報を共有し、ケア実践では寄り添う姿勢で安心感を提供出来るように努めている。	日々のコミュニケーションの中で「～を食べたい」「～へ行きたい」等利用者の思いを聞き取り、また、思わぬ表情やつぶやき等も記録に残し介護計画に活かされている。リビングでは季節の作品作り、新聞を見る方等思い思いに過ごされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族にこれまでの暮らし、なじみのある暮らしが継続出来るよう情報収集に努めている。	本人、家族にこれまでの暮らし、なじみのある暮らしが継続出来るよう情報収集に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者本位のサービスを念頭に状況把握に努め、出来る限り本人様が出来ることはやってもらう環境を整備し、記録にて把握できるように努めている。	利用者本位のサービスを念頭に状況把握に努め、出来る限り本人様が出来ることはやってもらう環境を整備し、記録にて把握できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、モニタリングを行い、利用者様をピックアップし、ケアカンファレンスを行い、他職種とも連携し、生活の質維持・向上が出来るようにしている。家族にも相談し、出来る限り要望に沿った計画になるよう努めている。	毎月、モニタリングを行い、利用者様をピックアップし、ケアカンファレンスを行い、他職種とも連携し、生活の質維持・向上が出来るようにしている。家族にも相談し、出来る限り要望に沿った計画になるよう努めている。	担当者は日々の記録を基にモニタリング表を作成。利用者、家族の要望を聞き取り利用者に合わせ、毎日が楽しく過ごせる様に介護計画を作成されている。体調の変化の際には現時点の利用者に合った計画に見直し、特に医療面の現状は詳細に家族にも説明されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別経過記録または介護日誌を活用し職員間で情報の共有が出来るように努めている。また、LINEWORKSを活用しタイムリーに情報共有が出来るように努めている。	個別経過記録または介護日誌を活用し職員間で情報の共有が出来るように努めている。また、LINEWORKSを活用しタイムリーに情報共有が出来るように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに対して現実性、客観性を踏まえ検討を深めている。初めから困難ととらえるのではなく、どうしたら実現できるかを考えていくよう努めている。	ニーズに対して現実性、客観性を踏まえ検討を深めている。初めから困難ととらえるのではなく、どうしたら実現できるかを考えていくよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	情報収集に努め、日々利用者様がよりよい楽しい生活が送れるように支援出来るよう努めている。	情報収集に努め、日々利用者様がよりよい楽しい生活が送れるように支援出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医を継続出来るが、往診をされていないときもあり、その際はこちらの協力医療機関に変更して頂く事で、毎月2回の定期往診、体調不良時の臨時往診を受けることが可能。検査が必要だった場合などは、職員が送迎を行い、適切な医療が受けられるよう支援している。	入居前のかかりつけ医を継続出来るが、往診をされていないときもあり、その際はこちらの協力医療機関に変更して頂く事で、毎月2回の定期往診、体調不良時の臨時往診を受けることが可能。検査が必要だった場合などは、職員が送迎を行い、適切な医療が受けられるよう支援している。	家族の要望でかかりつけ医受診の方もある。往診は月2回全員が受診される。精神科も2週間に1回の往診で健康管理が出来ている。受診は家族であるが職員が送迎し病院で家族と待ち合わせ、結果は家族から報告される。緊急時も24時間対応出来る体制である。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の健康観察を実施し、状況の変化や日々の観察において変化がある場合は施設看護師に報告し、適切な受診看護処置が受けられるよう支援している。施設内で点滴投与など。	毎日の健康観察を実施し、状況の変化や日々の観察において変化がある場合は施設看護師に報告し、適切な受診看護処置が受けられるよう支援している。施設内で点滴投与など。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、介護サマリーを作成、持参し日々の生活状況ADL、排便・入浴・薬の情報などをお伝えするようにしている。また、地域連携室の方との情報交換に努めている。退院前のカンファレンスに参加し退院支援を行っている。	利用者が入院した際は、介護サマリーを作成、持参し日々の生活状況ADL、排便・入浴・薬の情報などをお伝えするようにしている。また、地域連携室の方との情報交換に努めている。退院前のカンファレンスに参加し退院支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に必ずご説明をさしあげ、食事形態が大きく変更になった際には、今後のご説明をさせて頂き、ご家族様・担当医と今後についての話し合いの場を設け、介護職員・看護スタッフなどとカンファレンスを行い、看取り介護計画書を作成、共有し、より良い看取りの支援が出来るように努めている。	入居時に必ずご説明をさしあげ、食事形態が大きく変更になった際には、今後のご説明をさせて頂き、ご家族様・担当医と今後についての話し合いの場を設け、介護職員・看護スタッフなどとカンファレンスを行い、看取り介護計画書を作成、共有し、より良い看取りの支援が出来るように努めている。	入居時に重度化、看取りについて説明し同意を得ている。これまでに経験もある。今後看取りが多くなる事を想定し、職員の不安な所もあり家族、利用者の思いに寄り添い、安らかな最期となるように勉強会が行われている。体制は出来ている。家族の泊まりも可能である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルに沿って、迅速で適切な対応が出来るよう、勉強会などもおこない、事例発生後はカンファレンスを行い、緊急時にすぐに対応できるよう努めている	緊急時対応マニュアルに沿って、迅速で適切な対応が出来るよう、勉強会などもおこない、事例発生後はカンファレンスを行い、緊急時にすぐに対応できるよう努めている	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	特に消防・警察・近隣住民との協力体制は構築で来ており、定期的に(年2回)防災訓練の実施をしている。管理者は勿論、スタッフにも防火管理者甲種の資格取得を推奨している。	特に消防・警察・近隣住民との協力体制は構築で来ており、定期的に(年2回)防災訓練の実施をしている。管理者は勿論、スタッフにも防火管理者甲種の資格取得を推奨している。	消防署立会いで年2回夜間想定訓練を町民と利用者の参加で訓練されている。職員は消火器の設置場所や使い方は周知している。訓練後は消防署からの注意点、問題点の説明があり確認、改善されている。備蓄の用意もあり、家族に避難場所も知らせている。毎日夜間には緊急要員の配置もされている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会などにて、個々の利用者の尊厳の確保は基本的な事であり、職員も研修時・勉強会時は理解できているものの、現場では否定的な言葉、ダメなどの言葉が聞かれたりすることもあり、職員同士で注意し合える環境を保てるよう努めている。	勉強会などにて、個々の利用者の尊厳の確保は基本的な事であり、職員も研修時・勉強会時は理解できているものの、現場では否定的な言葉、ダメなどの言葉が聞かれたりすることもあり、職員同士で注意し合える環境を保てるよう努めている。	外部や事業所内で接遇の研修がある。言葉遣いも大切に大声や声のトーンに気を配り、利用者にあった声掛けをされている。その場に応じて方言も上手く使い分け利用者には分かり易く伝わり雰囲気も明るくなる。個人情報保護や管理も職員は周知されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や要望に対して対応可能な範囲で実現できるように、選択肢を表し、自己決定が行えるように支援している。	希望や要望に対して対応可能な範囲で実現できるように、選択肢を表し、自己決定が行えるように支援している。	/	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位のサービスが実践できるようにケアの在り方を考え、必要があれば手順の見直しなどを実施。出来る限り希望に沿った支援が行えるよう努めている。希望が言えない方は家族に状況説明を行い支援要望を伺うように努めている。	利用者本位のサービスが実践できるようにケアの在り方を考え、必要があれば手順の見直しなどを実施。出来る限り希望に沿った支援が行えるよう努めている。希望が言えない方は家族に状況説明を行い支援要望を伺うように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様の意向を尊重し、季節に応じた衣類を来訪者と会う時や外出時に適切な身だしなみが行える様支援している。	本人様の意向を尊重し、季節に応じた衣類を来訪者と会う時や外出時に適切な身だしなみが行える様支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は現在、宅配サービス業者に依頼している。湯せん・盛付は介護職員にて実施。施設で取れた野菜などでお漬物をつけたり、タケノコ堀のあとにはたけのこご飯にしたり、イベント時にはおやつと一緒に作ったりしている。	食事は現在、宅配サービス業者に依頼している。湯せん・盛付は介護職員にて実施。施設で取れた野菜などでお漬物をつけたり、タケノコ堀のあとにはたけのこご飯にしたり、イベント時にはおやつと一緒に作ったりしている。	食事は外部に依頼されているがご飯はホームで炊き、季節に合ったものを提供されている。利用者の食べ易い形態にされ美味しく完食される。職員は同じものは食べてないが声掛け、見守りしながら楽しい時間である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個別に食事量・水分摂取量を記録しており、常に状態把握に努めている。食事摂取量減少時はかかりつけ医に相談し、ハイカロリードリンクなど補助栄養剤にて対応したりしている。	利用者個別に食事量・水分摂取量を記録しており、常に状態把握に努めている。食事摂取量減少時はかかりつけ医に相談し、ハイカロリードリンクなど補助栄養剤にて対応したりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施。歯磨き・うがいが出来ない方も、口腔ケアティッシュにてケアに努めている。定期的に訪問歯科を利用されている方もおられ、必要時には施設内で歯科受診も可能としている。	毎食後に口腔ケアを実施。歯磨き・うがいが出来ない方も、口腔ケアティッシュにてケアに努めている。定期的に訪問歯科を利用されている方もおられ、必要時には施設内で歯科受診も可能としている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄状況を記録につけて把握し、可能な限り自力排泄が出来るよう支援している。日中は立位保持不可の方も定期的にトイレ誘導を行い、便座にて排泄出来るよう声掛け、腹部マッサージをしたりして排泄支援の努力をしている。	排泄状況を記録につけて把握し、可能な限り自力排泄が出来るよう支援している。日中は立位保持不可の方も定期的にトイレ誘導を行い、便座にて排泄出来るよう声掛け、腹部マッサージをしたりして排泄支援の努力をしている。	排泄パターンを活用し時間帯や食事の前後に誘導されている。衣類の上げ下げの出来る方を見守り、自立に向けて声掛けし支援されている。足元にはセンサーマットを使用される。排便についても腹部のマッサージを行い、医師と相談し改善されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、午前・午後に体操を実施。乳製品等を取り入れ、食事、特に水分量を増やし飲んでいただいたり、腹部マッサージを実施して働きかけをしているが、難しい場合は便秘薬服用にて排便管理を日々行っている。	毎日、午前・午後に体操を実施。乳製品等を取り入れ、食事、特に水分量を増やし飲んでいただいたり、腹部マッサージを実施して働きかけをしているが、難しい場合は便秘薬服用にて排便管理を日々行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は1日3名、週2回午前中に入浴して頂いている。午後からを希望された方にも対応できる体制となっている。	入浴は1日3名、週2回午前中に入浴して頂いている。午後からを希望された方にも対応できる体制となっている。	男性の利用者もおられるが入浴順番は利用者のその日の体調や気分、その人のペースに合わせている。入浴剤も使用し、週2回30~40分間程ゆったりした入浴で話が出来、歌ったりされる方もある。衣類の着脱の出来る方を見守りされている。介護度が高い方や看取りの方は隣の施設の機械浴を使用される。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調管理・バイタル測定等にて常に状態観察に努め、安息が取れるよう支援している。午後からうとうとされている方には居室にて1~2時間程休息して頂くよう支援している。	体調管理・バイタル測定等にて常に状態観察に努め、安息が取れるよう支援している。午後からうとうとされている方には居室にて1~2時間程休息して頂くよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は居宅療養管理指導を導入して頂き、適切に管理されており、施設看護師による介護職へのアドバイス・指導もできており、観察は記録に記し状態変化の確認・報告に努めている。	服薬は居宅療養管理指導を導入して頂き、適切に管理されており、施設看護師による介護職へのアドバイス・指導もできており、観察は記録に記し状態変化の確認・報告に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々人に合わせた役割の創出や行事などの楽しみが作れるような支援を心がけている。コロナ禍で外出行事はまだできていないが、春には花見を行い、外部の移動販売などに定期的に来てもらい買い物を楽しんだり、散歩で近くのパン屋に出向いたりしている。	個々人に合わせた役割の創出や行事などの楽しみが作れるような支援を心がけている。コロナ禍で外出行事はまだできていないが、春には花見を行い、外部の移動販売などに定期的に来てもらい買い物を楽しんだり、散歩で近くのパン屋に出向いたりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で外出行事などはまだ出ていないが、家族様には受診時などに外食して帰ってきて頂いたりと協力をお願いしている。	コロナ禍で外出行事などはまだ出ていないが、家族様には受診時などに外食して帰ってきて頂いたりと協力をお願いしている。	コロナ禍で計画的な外出支援は少ない。受診の帰りに外食される事もある。天気のいい日はホームの周囲を散歩したり、畑で野菜作りを楽しみ、季節を感じ、日光浴で気分転換になっている。近くにスーパーもあるが月2回移動販売があり、楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力に応じて支援しているが、自己管理が出来る方は1・2名しかおられないが、月に2回移動販売がくるので、その際は、一人ひとりにお金を少しづつ持っていていただき、個人で支払いをして頂けるよう支援している。	個人の能力に応じて支援しているが、自己管理が出来る方は1・2名しかおられないが、月に2回移動販売がくるので、その際は、一人ひとりにお金を少しづつ持っていていただき、個人で支払いをして頂けるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があれば、電話番号を伺い、ダイヤルをして、本人にお話して頂けるよう支援している。家族からの要望時はLINEのテレビ電話で対応させていただいたりしている。手紙が届いたら、本人に開封してもらい、お礼の電話をかけてお話して頂けるよう支援している。	要望があれば、電話番号を伺い、ダイヤルをして、本人にお話して頂けるよう支援している。家族からの要望時はLINEのテレビ電話で対応させていただいたりしている。手紙が届いたら、本人に開封してもらい、お礼の電話をかけてお話して頂けるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北)	自己評価／ユニットB(南)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるように、毎月カレンダーを作成してもらい、体操時に今日の日付け曜日などを言ってもらうように心がけている。また、出来る限り、季節の花などを飾るようにしている。	季節感を感じられるように、毎月カレンダーを作成してもらい、体操時に今日の日付け曜日などを言ってもらうように心がけている。また、出来る限り、季節の花などを飾るようにしている。	各ユニットそれぞれ思考を凝らした作品や飾り付けである。掃除は職員でされ天井は高く、広い廊下は障害物も無く、歩行訓練も出来る。臭いも無く清潔である。一角に畳間があり催しの際には舞台として使われる。リビングではテレビを見たり、新聞を読んだり思い思いにのんびりと過ごされている。台所から食事の匂いが感じられ、利用者の様子も分かる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、気の合った利用者同士思い思いに過ごせる環境となっている。一人になりたいときは、テラスだったり、居室は個室の為、自由自在に移動され、思い思いに自由に過ごされている。	共用空間の中で、気の合った利用者同士思い思いに過ごせる環境となっている。一人になりたいときは、テラスだったり、居室は個室の為、自由自在に移動され、思い思いに自由に過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時からご家族様には出来る限り新調ではなく、本人様のなじみのある物品を持ち込んで頂くようご案内しており、家具や装飾品など持ち込んで頂けるようにして対応しております。	入居時からご家族様には出来る限り新調ではなく、本人様のなじみのある物品を持ち込んで頂くようご案内しており、家具や装飾品など持ち込んで頂けるようにして対応しております。	居室の入口は色紙や写真、作品で目印になっている。ベッドのみ事業所で用意され、テレビ、写真、お仏壇等自由な持ち込みがあり、その人らしく配置されている。衣類の入れ替えは家族で行っていたがコロナ後は職員が行っている。掃除も行き届き、整理整頓され過ごし易い居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	状態に応じて自立した生活空間の提供を心がけている。安全面では常に見守り体制を整備し、日々改善点がないかスタッフにも気付きはすぐに報告するよう依頼し、早期改善を心がけている。	状態に応じて自立した生活空間の提供を心がけている。安全面では常に見守り体制を整備し、日々改善点がないかスタッフにも気付きはすぐに報告するよう依頼し、早期改善を心がけている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない